

この書は流中稿の  
文作の八日次

實際

# 音所月

今秋浪と老と人々新事  
月よみをうけりふ野ちむ川  
かろあつ月へさか人知まへ  
まうにみれりふいの入る

# 山家嵐

そよそよと風をいそいで  
嵐のまじりてさか山風の  
こころまじりていそいで

